

水稲



農作業メモ



水稲

吉田 義文
指導販売部
0969-22-1105

① 水田除草剤の適正使用

農薬は、あらかじめ品質・効果・残留性などが、基準によりチェックされ、問題がないと判断された薬剤が農林水産大臣の登録を受け、販売・流通しています。

水田除草剤として製品に貼付されているラベルには効果や薬害、残留性等から設定された使用基準や使用上の注意事項が記載されています。その内容を遵守して使用してください。薬剤の特長や散布方法を把握し効率よく利用し、特に散布時や散布後数日間（7日程度）の水管理には十分注意を払う必要があります。湛水状態を保つことは、安定した除草効果が得られるばかりでなく水田水系外への除草剤成分の流出を防止するためにも重要となります。

散布した除草剤の有効成分は水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した効果を得るためには、この処理層を壊さない水管理が大切です。落水や漏出を防ぎ、掛け流しを行わないようにしましょう。

また、水が少なくなり田面が露出するとその部分の除草効

果が低下しますので減少分をその都度補充してください。

② 有効茎数の確保と中干し

除草期間が終了したら有効茎数を確保するために暖かい日中は、浅水管理で分げつの促進に努めてください。1株の茎数が18本程度確保できたら中干しを行ってください。（平年では5月20日頃より）水管理を容易にするために、中干し前の土が軟らかい時に「溝切り」を行いましょう。

③ 中間施肥 病害虫防除

中干し前に、茎を丈夫にするために珪酸加里を10㍑に20kg程度を施用してください。

補植苗は病害虫の発生要因となりますので、早めに取り除きましょう。また、畦畔の除草による耕種の防除に努めましょう。

野菜



野菜類防除基準



野菜

寺田 到
上島営農指導センター
090-6897-7996

※適用作物名が『野菜類』となっており、家庭菜園にも比較的使いやすい薬剤です。春先から虫、病気の発生が多くなりますのでご注意ください。

I 病害虫防除

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害		灰色かび病		立枯病		立枯				灰色かび病			
		黒斑病、斑点細菌											
		軟腐病、べと病		うどんこ病		軟腐病、べと病							
		さび病				さび病							
虫害		アブラムシ・ハダニ											
		アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、オオタバ											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
病害	灰色かび病	ボトキラー水和剤 1000倍 使用回数制限なし 発病前											
	斑点細菌病	コサイドボルドー 1000倍 使用制限なし											
	黒斑病	Zボルドー 500倍 使用制限なし											
	軟腐病												
	うどんこ病	カリグリーン 800～1000倍 回数制限なし 収穫前日まで (トマト・ミニトマトは除く)											
	さび病	硫黄粉剤50 3kg／10a ジーファイン水和剤 1000倍 使用制限なし 収穫前日まで (なすは除く)											
虫害	アブラムシ	サンクリスタル乳剤 300倍 収穫前日まで (なす・トマト・ミニトマトは除く)											
	ハダニ	硫黄粉剤50 3kg／10a アカリタッチ乳剤 1000～3000倍 使用制限なし 収穫前日まで											
	アオムシ	デルフィン顆粒水和剤 1000倍 使用制限なし 収穫前日まで 発生初期											
	コナガ	ゼンターリ顆粒水和剤 1000～2000倍 使用制限なし 収穫前日まで 発生初期 (はくさいは除く)											
	ヨトウムシ	トアローフロアブルCT 1000～2000倍 使用制限なし 収穫前日まで 発生初期 (※オオタバコガ500～1,000倍)											
	オオタバコガ	※上記の剤は同一種類剤(BT剤)のため、散布回数は、総計で4回まで											

病害防除

- 降雨の後に防除
- チツソが効いて軟弱な場合には注意
- 温度が下がってきたら、べと病の防除
- 乾燥してきたらうどんこ病の防除
- 雨が多い場合は細菌病、カビ病ともに予防剤散布
- 風が良く当たるところでは細菌病が多い(防風ネット利用)

虫害防除

- 強い風が吹いたら、虫が増える
- 乾燥したらダニが増える
- 雨が多いと、全般的に虫は少ない
- 虫が見えたら防除。7日～14日後に卵や蛹が成虫になるのでまた防除。

温度条件

降雨・湿度条件

生育状況

生育環境の観察+防除

やや高温・乾燥・風で多発、降雨で減

※ 防除薬剤は「薬剤の種類」、「希釈倍数」、「散布液量」、「散布回数」に注意し、基準を厳守する。

果樹



4月の柑橘園管理



果樹

木蜜 栄次
上島営農指導センター
080-1759-0088

1. 河内晩柑の収穫とその後の管理

通気の良い冷暗所で予措を行い、ポリ個装を実施しましょう。また、今後は気温の上昇に伴い庫内の温度も上昇しますので、朝夕の換気に努め貯蔵管理を行いましょう。

品種名	区分	収穫時期	予措期間
河内晩柑	後期採取	4/1～4/30	7日程度（2%）

2. 病害虫防除

項目	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	散布時期	備考
温州みかん	そうか病	デランフロアブル	1,000倍	上旬	発芽3mm時
中晩柑	かいよう病	コサイド3000加用クレフノン	2,000倍 200倍	開花前	かいよう病の発生が心配される園
全品種	アブラムシ	モスピランSL液剤	4,000倍	開花期	

3. 施肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
全品種	硫マグエース	4月上旬	2袋
早生・中熟普通温州	熊本果樹肥料10-7-4 又は ひのくに果樹9-3-3	4月上旬	5袋
デコボン	熊本デコボン8-3-3	4月上旬	3袋

※着花が多すぎる場合は、花肥えとしてハイヤ1号を1袋/10a施用する（初蕾期）

4. 葉面散布

樹勢が落ちている場合、貯蔵養分の不足が考えられますので、発芽～新梢伸長期はチッ素系の葉面散布を行って下さい。また、緑化が遅れそうな場合は、マグネシウムの葉面散布を行いましょう。

目的	資材名	希釈倍数	備考
樹勢回復 樹勢維持	尿素	500倍	いずれかをご使用下さい
	アミノジューシーN14		
緑化促進	神協スピリッツ	200倍	
	葉面マグ	200倍	

畜産



繁殖牛のボディーコンディションについて



畜産

園田 遼海
下島営農指導センター
080-1795-9380

現在も子牛の相場は高値傾向で推移しています。繁殖牛は、一年一産させることが経営の安定にもつながります。そのためには、繁殖母牛の体調を健全に保ち、産子を正常に分娩させることが重要です。近年、天草子牛市場では増体の大きな牛が価格も高い状況にあるため、それに伴って繁殖牛も大きくなりがちです。脂肪が付きすぎると難産や繁殖障害の原因にもつながりますので、一年一産を維持するためにも、牛のボディーコンディションを正常に保ちましょう。

BCS（ボディーコンディションスコア）

BC（ボディーコンディション）とは、牛の脂肪の蓄積状態を表す指標です。1から5までの段階でランク付けしており、その基準は次のようになっています。

BCS	状態	原因・症状
1	やせ過ぎ	授乳期になりやすい。飼料給与不足。乳量が減少し、子牛の発育不良。種付きが悪くなる。
2	やせ気味	授乳牛として好ましいBC
3	普通	繁殖牛として好ましいBC 妊娠牛として好ましいBC
4	太り気味	妊娠末期になりやすい (難産、産後不良になりやすい。) 運動不足、配合飼料・サイレージ給与過多
5	太り過ぎ	妊娠末期になりやすい

太り過ぎはオーバーコンディションといい飼料の給与過多が原因の場合が多く、逆に、やせ過ぎはアンダーコンディションといい、飼料給与不足による場合が多いようです。いずれの場合も繁殖成績が悪くなるケースが

多くみられます。

一般に妊娠末期の牛は過肥（太り過ぎ）の傾向がありますが、太り過ぎは難産になりやすく、分娩後には食欲低下や代謝病のケトージス症にかかりやすくなります。

また、子牛を親付けする場合、授乳期にはやせ過ぎになりやすく、そのため泌乳量が減少し、時には授乳を嫌い、子牛の発育が悪くなりがちです。

多頭飼養の経営では、個体ごとにBCSを記録し、飼料給与量を増減することで、BCSを制御することに役立ちます。妊娠牛のBCSは3～3.5、授乳牛の場合は2.5～3が理想的です。

BCSの低い繁殖牛は粗飼料の大部分が稲わらで、良質な飼料作物のサイレージや濃厚飼料が不足している場合に見られます。

・今後の対策

BCSを完全に管理することは難しいですが、それぞれの飼養管理の中でできるだけ理想に近づけることが大切です。飼料給与基準や、繁殖牛検診などを利用して、飼養管理に役立てることも可能です。難産や繁殖障害をなくして、より良い経営、一年一産に努めましょう。